

かんじ きほんてき かたち ちゅうもく
漢字の基本的なパーツになる「カタカナ」の形に注目！

かんじ なか かたち かんじ
漢字の中にあるカタカナの形を意識して、漢字の形をおぼえよう。
しょうがっこう ねんせい なら つか
小学校1年生で習うカタカナをしっかりとおぼえていると使えるよ。

ア アの たてぼうをはねたかたち **了** れい 例： $\begin{matrix} \text{マ} \\ + \\ \text{了} \end{matrix} \rightarrow \text{予}$

イ にんべんは、カタカナのイでおぼえよう。
イ **体**

ウ うかんむり **宀** は、「カタカナのウの ひら平べったいの」とおぼえよう。

エ 例： $\begin{matrix} \text{ウ} \\ + \\ \text{ル} \\ + \\ \text{エ} \end{matrix} \rightarrow \text{空}$

カ 例：カ + 口 \rightarrow 加

*漢字のちから「カ」と かたち形が にているよ。

ケ ケ + ケ \rightarrow 竹

*ケとケで かんむりになるよ。 **算** **答**

シ さんずいにているので、カタカナの「シ」でおぼえよう。

海活

ソ いろいろなところにソの形が出てくるよ。

火半豆前弟洋

タ タ+タ → 多 ほかの例：タ+ト → 外

ツ つかんむりのツなどに使うよ。

単字拳

ナ ナの形をさがしてみよう。

右布

ニ いろいろなところに、ニの形が出てくるよ。

示

ニ
+
ム → 云 会伝芸

ネ しめすへんはカタカナの「ネ」の形。

礼社

ノ パーツとパーツをくっつけるカタカナのノ。

石千

ハ ^{かたち}ハの形。 ^{ほか} ^{れい}その他の例 $\begin{matrix} \text{ハ} \\ + \\ \text{ム} \end{matrix} \rightarrow \text{公}$

六校父

ヒ ヒ+ヒ → 比 階

イ+ヒ → 化 $\begin{matrix} \text{サ} \\ + \\ \text{ヒ} \end{matrix} \rightarrow \text{花}$

ホ いろいろなところにホの形が出てくるよ。^{かたち} ^で

茶述術余除

マ いろいろなところにマの形が出てくるよ。^{かたち} ^で

マ疑令勇

ム いろいろなところにあるム^{かたち}の形。

広台弁育能

メ ^{かたち}メの形をさがしてみよう。

気 区 希

ユ ^{かたち}ユの形がどこに^で出てくるかな。

快 候

ヨ ^{かたち}ヨの形が^{つか}使われているところがあるよ。

曜 雪

ラ ^{かたち}ラの形がどこに^で出てくるかな。

今 念

リ ^{かんじ}漢字の^{なか}中にある^{かたち}リの形。

帰 班

リににている **リ** こういう^{かたち}形をおぼえておこう！

判 制 測

ル ルの形に、^{かたち}にているところがあるよ。

四 西 探

口 カタカナの口と漢字の^{かんじ}くち口は、^{かたち}にている形だね。

器

ワ ^{ひら}平たい  は、^{つか}かんむりで使うよ。

写

